

5. やさしいまちづくりに対する町民意識

本計画では、町民の方々から広くご意見を伺い計画に反映していくために下記のような方々を対象としたアンケートを実施しました。

(1) 町民意識アンケート対象者

① 身体障害者

| | |
|----------|-----------------------------------|
| アンケート対象者 | 身体障害者手帳(3級以下)所持者している川俣町在住者(無作為抽出) |
| 実施方法 | 郵送による配布・回収時にヒアリング |
| 実施期間 | 平成11年1月18日～1月29日 |
| 配布数 | 22 |
| 回収数 | 18 |

② 高齢者

| | |
|----------|---------------------|
| アンケート対象者 | 65歳以上の川俣町内在住者 |
| 実施方法 | 郵送による配布・回収 |
| 実施期間 | 平成11年1月18日～1月29日 |
| 配布数 | 12(大字12地区の老人クラブの会長) |
| 回収数 | 8 |

③ 3歳以下の子供がいる方

| | |
|----------|--------------------------|
| アンケート対象者 | 3歳以下の子供がいる川俣町内在住者(無作為抽出) |
| 実施方法 | 郵送による配布・回収 |
| 実施期間 | 平成11年1月18日～1月29日 |
| 配布数 | 12 |
| 回収数 | 3 |

④ 妊婦

| | |
|----------|-------------------------|
| アンケート対象者 | 現在マタニティ教室に参加している川俣町内在住者 |
| 実施方法 | マタニティ教室時に直接配布・回収 |
| 実施期間 | 平成11年2月25日 |
| 配布数 | 16 |
| 回収数 | 16 |

⑤ ホームヘルパー

| | |
|----------|---------------------|
| アンケート対象者 | ホームヘルパーをしている川俣町内在住者 |
| 実施方法 | 郵送による配布・回収 |
| 実施期間 | 平成11年1月18日～1月29日 |
| 配布数 | 2(常勤・登録各1名) |
| 回収数 | 2 |

⑥ 療育手帳所持者

| | |
|----------|----------------------------|
| アンケート対象者 | めぐみ授産所、かえで授産所に通所している川俣町在住者 |
| 実施方法 | 指導員による配布・回収時に直接ヒアリング |
| 実施期間 | 平成11年2月19日 |
| 配布数 | 17 |
| 回収数 | 17 |

(2) アンケート結果

1) 身体障害者、高齢者

調査対象者を身体障害者手帳3級以下としたため、日常生活や外出時に介助を必要としない、比較的障害の程度が軽い方からの回答が大半を占めました。そのため、外出頻度も高く、町内外へ全く出掛けないという方はいませんでした。

日常生活で介助を必要としないものの、外出時には介助が必要という回答があり、その理由は下記のとおりでした。

- ・トイレが少ない(車いす利用者用トイレを含む)
- ・バスなどの交通機関が1人で利用できない
- ・段差が超えられない
- ・長時間立っていると疲れる/歩くと腰が痛い

また「川俣町のどこをどのように改善したら1人で外出できますか」という設問への回答は下記のとおりでした。

- ・ノンステップバスの導入
- ・洋式トイレを増やす
- ・身体障害者用駐車場を出入口近くに設ける
- ・階段の手すりを両側に設置する
- ・靴履き替えをせすにすむようにする
- ・洋式トイレ等がどこの施設にあるのかといった情報の提供

いずれも施設や設備の改善・整備をすることにより、外出時にかかる負担を軽減することが可能な内容であることがわかります。

川俣町内において高齢者や障害者が危険だと感じている箇所は下記のとおりでした。

- 車道
 - ・(小島新関地区の道路)狭く、見通しが悪い
 - ・家まで救急車、消防車が通れない
 - ・道路にはみ出しているもの(電柱、看板等)にぶつかりそうになる
- 歩道
 - ・歩道が凸凹している
 - ・歩道が歩きにくい
 - ・歩道がなく、歩行者に気を使う(身体障害者ドライバー)
 - ・段差がある
 - ・側溝に蓋がないところがある(弱視者:気付かずに落下した)
- 横断歩道
 - ・(中央公民館の前の横断歩道)横断旗がなく、渡るのに不安を感じる
- その他
 - ・冬場の凍結による危険
 - ・歩道は除雪されないので、危険とわかっていても車道を歩いてしまう
 - ・雨の日に床が濡れていると杖が滑り危険

大半が道路や歩道等に関する内容であり、移動交通環境の整備が重要であることがわかります。

2) 3歳以下のお子さんがいる方、妊婦

3歳以下のお子さんがいる方へのアンケートは回答数が少なく、子育てに忙しいことやまちづくりへの関心が希薄であることが覗えます。妊婦へのアンケートはマタニティ教室参加者へアンケートを依頼したため、積極的に回答していただくことができました。

注目すべき回答としては、「乳母車の利用」についてです。3歳以下のお子さんがいる方と妊婦の大半が乳母車を利用したいと考えていますが、お子さんがいる方の中には乳母車を利用したいのに実際には使っていないという結果が得られました。その理由は下記に示すとおりです。

| |
|-------------------|
| ・寒いから |
| ・段差が多いから |
| ・ドアが開けにくいから |
| ・出入口、通路、歩道の幅が狭いから |
| ・子供が乗りたがらないから |

また、「乳母車を快適に利用するために、改善してほしいこと」として下記のような回答が得られました。

| | 回答数 |
|-----------------------|-----|
| 段差をなくしてほしい | 13 |
| 自動ドアにしてほしい | 9 |
| 出入口、通路、歩道の幅を広くしてほしい | 8 |
| エレベーターをつけてほしい | 5 |
| エレベーターの場所をはっきり表示してほしい | 4 |

以上のように、段差やドア、出入口、通路、歩道などについて利用しやすい環境への改善が望まれていることがわかります。

子供連れでの移動を補助するための乳母車が、町なかの様々な障害のためにかえって不便利な乗り物になりかねません。車いす利用者の方も、乳母車同様、町中の障害のために利用しづらい環境であると推測することができます。

小さな子供連れでの外出時、オムツ交換や授乳の場所がないことは不安材料の1つとなりますが、アンケートによれば、主に車中で行われていることが多いようです。この不便さを解消するためにも専用スペースの設置を望む声は多く、オムツ交換台は女子トイレの中に、授乳室はトイレとは別の場所への設置が希望されています。また子供と一緒にだと親がトイレに行きづらいので子供をおけるスペースのあるトイレを設置してほしいという声もありました。この結果から、オムツ交換台は簡易折りたたみ式のものを設置したり、椅子式のベビーキープを個室内に設置することで外出時の不便さを和らげることが必要となっています。

3) 療育手帳所持者

授産所に通所している方を対象としたため、介助の必要がない方が大半を占め、外出頻度も比較的高い方からの回答となりました。

主な外出目的として買物、通院、散歩が挙げられており、外出方法は主に徒歩や自家用車を利用しているようです。

| 外出頻度 | |
|--------|---|
| ほぼ毎日 | 5 |
| 週に3～4回 | 0 |
| 週に1～2回 | 3 |
| 月に1～2回 | 6 |
| 外出しない | 3 |

| 外出目的 | |
|-------|----|
| 買物 | 17 |
| 通院 | 6 |
| 散歩 | 2 |
| 知人宅訪問 | 1 |
| 地域の行事 | 0 |
| 教養娯楽 | 0 |
| 旅行 | 0 |
| その他 | 4 |

| 外出方法 | |
|------|---|
| 徒歩 | 7 |
| 自家用車 | 7 |
| バス | 2 |
| 自転車 | 1 |
| タクシー | 0 |
| 鉄道 | 0 |
| バイク | 0 |
| その他 | 2 |

外出時に「けがや転倒をしたことがあるか」という問いについて5人の方が階段、ちょっとした段差、5cm以上の段差、足ふきマット等で転倒し、けがをしたと回答しました。これは身体障害者や高齢者と同様の結果となりました。健常者にとってなんでもない段差が転倒の原因になることが改めて浮き彫りになる結果となりました。

この他、「他の市町村で、使いやすかった設備、人の対応が良かったこと」について下記のよう回答が得られました。

| |
|--|
| <p>使いやすかった設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス停が見やすかった ・手すりがあった <p>人の対応が良かったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店員が優しくしてくれた ・ガソリンスタンドでトイレを貸してくれた ・道をやさしく教えてくれた ・駅員さんが親切だった(松川) |
|--|

これをみると、人の対応の仕方によって「やさしいまち」という印象を受けるということがわかり、ソフト面の整備の重要性が視えます。

4) 川俣町内でのやさしいまちづくりの認知度

川俣町は「ひとにやさしいまちへと変化しているか」という問いに対して、下記のような回答が得られました。

| | 身体 障害者 | 知的 障害者 | 高齢者 | 妊婦 | ホーム ヘルパー | 全体 |
|--------------|-----------|-----------|-----|----|-------------|-----------|
| ここ数年で一気に変化した | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2(3.1%) |
| 少しずつ変化している | 10 | 5 | 4 | 5 | 1 | 26(40.6%) |
| 全く変化していない | 8 | 5 | 4 | 10 | 1 | 28(43.8%) |
| 無回答 | 0 | 4 | 0 | 4 | 0 | 8(12.5%) |

これをみると「ここ数年で一気に変化した」と「少しずつ変化している」と感じている方が約半数、「全く変化していない」と感じている方が約半数という結果になりました。

やさしいまちへと変化していると感じる箇所については、下記のような回答(複数回答)が得られ、道路の段差が少なくなったと評価する人が最も多い結果となりました。

| | 身体 障害者 | 知的 障害者 | 高齢者 | 妊婦 | ホーム ヘルパー | 全体 |
|------------------------------|-----------|-----------|-----|----|-------------|----|
| 建物の段差が少なくなった | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 道路の段差が少なくなった | 5 | 1 | 0 | 4 | 0 | 10 |
| トイレ、エレベーター等の 設備が整った建物が増えた | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 7 |
| 手助けをしてくれる人が増 えた | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | 5 |
| その他 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | 5 |

- その他
- ・挨拶を交わすようになった
 - ・役場の人が見やすくなった
 - ・舗装道路が多くなった
 - ・バイパス沿いが近代化してきた
 - ・役場に車いす利用者用駐車場ができた

5) 求められているサービス・制度等

身体障害者や高齢者、妊婦、ヘルパー等の立場から必要だと思うサービスや制度について自由に記述していただきました。

身体障害者・高齢者

[身体的ダメージの軽減について]

- ・近くにポスト、バス停がほしい
- ・役場での手続き(年金等)は1階にしてほしい
- ・男女別の施設(トイレ)などで、異性が介助できないことがあるので代理の人がいるとよい

[情報提供について]

- ・町からのお知らせを読むのが大変なので工夫してほしい(弱視者)
- ・補助金などの情報をもっとわかりやすく伝えてほしい/情報がもっとほしい
- ・働ける場を紹介してくれる情報機関/仕事の紹介

[経済的支援]

- ・障害の程度に関係なく、医療費を無料にしてほしい
- ・利用しやすい車がほしい

[その他]

- ・冬期の道路整備
- ・町の人々の声を聞く機会を増やしてほしい

妊婦

- ・乳幼児を預かってくれるところ
- ・24時間託児所(看護婦)
- ・理由によらず、価格の安い保育所・ベビーシッター
- ・育児休暇(中小企業では、適応されない企業が多いので)
- ・トイレに行きたくなった時、一時的に子供を見てほしい

ヘルパー

- ・有料宅配給食サービス
- ・送迎サービス
- ・ケア付住宅
- ・デイケア
- ・ショートステイ
- ・紹介機関・窓口

6) 日頃利用している建築物等について

日頃利用している建築物や公園等で不便に感じている点、利用したいが利用できない理由を挙げていただきました。これら指摘された点については、できる範囲で改善し、利用しやすい施設とする必要性が高いものと思われます。

| 施設名称 | 不便に感じている点 | 利用できない理由 |
|--------|--|--|
| 川俣町役場 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 入口に段差がある ・ 自動ドアの感知が悪い ・ エレベーターがない ・ 階段の片側にしか手すりがない ・ 廊下、通路が狭い ・ 洋式トイレがない ・ 段差が多い ・ 表示がわかりにくい ・ 椅子が座りにくい ・ 車いす利用者用駐車場が出入口から遠い ・ 段差が多いので歩きにくい(敷地) ・ 役場の人とは市役所の人より親切ではない | |
| 中央公民館 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ドアが開けにくい ・ 中央ホールの出入りに時間がかかる ・ エレベーターがない ・ 手すりがない ・ 表示がわかりにくい ・ バスの待合室がない ・ 駐車場から建物までが暗く、遠い ・ 段差が多いので歩きにくい ・ 冬場、凍って滑りやすい ・ 2階席は話が聞こえづらい ・ 炊事室がない | <ul style="list-style-type: none"> ・ ドアが開けにくい ・ 窓口がないので誰に声をかけてよいか戸惑う ・ 建物内にスロープがほしい ・ 駐車場から建物まで遠い |
| 川俣町体育館 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 山の上で暗い ・ ドアが開けにくい ・ 段差が多いので歩きにくい | |
| いきいき荘 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自家用車を持たない者には遠い | <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人利用でも送迎してくれると利用が増えると思う |
| シルクピア | <ul style="list-style-type: none"> ・ 照明が少ない ・ トイレがすぐに満室になる ・ 駐車場が狭い | <ul style="list-style-type: none"> ・ 品揃えが少ない ・ 桜の木で中が見づらい ・ 看板が小さく見落とす |
| 公衆トイレ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 案内板がほしい ・ 少ない ・ 洋式トイレが少ない ・ ベビーキープがほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生などの溜まり場になっている ・ 汚い ・ 少ない |
| 中央公園 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公衆電話がない ・ 山なので疲れる ・ 頂上まで車で行けるとよい | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園内まで遠い ・ 段差が多い ・ 洋式トイレがない ・ 遊具が少ない ・ 冬場に遊べる屋内の施設がない |

| 施設名称 | 不便に感じている点 | 利用できない理由 |
|------------|--|---|
| 郵便局 銀行等 | <ul style="list-style-type: none"> ・記入する作業が大変(弱視) | |
| 病院 | <ul style="list-style-type: none"> ・スリッパに履き替えなければなら ないので不便 ・病院の待ち時間が長い ・設備が足りない | |
| 小売店舗 | <ul style="list-style-type: none"> ・車いす利用者用駐車場がない ・洋式トイレがない ・値札が見にくい ・出入口が狭い ・ドアが開けにくい ・駐車場から国道を渡るのは危険 | <ul style="list-style-type: none"> ・広い駐車場がない |
| 交通機関 道路 | <ul style="list-style-type: none"> ・バスのステップが高いので利用し ない ・タクシー料金が高い ・道路の中心が高くなっていると歩 きにくい ・交差点の夜間標識がほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い |

6. やさしいまちづくりへの課題

ここでは、都市環境、移動・交通環境、町民参加環境の3つの視点から問題点と課題を整理します。

(1) 都市環境について

問題点

- ・調査した施設のほとんどが整備・改善が必要な施設であり、全ての人にやさしい施設として整備されている施設はありません。
- ・屋外通路では段差の解消、スロープの設置、視覚障害者用誘導ブロックの敷設等が遅れている状況にあります。
- ・公共施設においても身体障害者用駐車場が確保されていない施設がほとんどです。
- ・ほとんどのスロープには利用に耐えうる手すりが設置されていません。また、階段の手すりは踊り場には設置されておらず、連続性に欠ける使いづらい状況が多いようです。
- ・公衆電話台、受付・案内カウンター等の高さについては、一部の施設で車いすや高齢者の負担が少ないように配慮されてきています。
- ・施設内の案内板、備品、家具等が通行の妨げになっている箇所あり、細かい心配りにより解決できることが多くみられます。
- ・障害者も利用可能なトイレの設置箇所が少ないことが、障害者の外出を妨げる要因の1つになっています。
- ・一般の施設利用者に開放されているトイレについても和式便器が主流です。高齢者や障害者、妊婦等への負担を考慮すると、洋式便器の導入が望まれます。

課題

- ・ほとんどの施設において大幅な施設改善が必要な状況であるため、緊急に整備の必要な事柄から優先順位を定め、段階的に整備を進める必要があります。
- ・身体障害者用駐車場をスロープ等により簡単に建物入口にアクセスできる位置に設置することが望まれます。
- ・建物入口までのアプローチ、施設内の同一階での移動、上下階への移動に関して、安全な動線を確認する必要があります。
- ・障害の種類、利用者の状況を細かく想定し、配慮した設備配置や動線確保が必要です。
- ・トイレについては、洋式便器の導入や身体障害者や高齢者、乳幼児連れの方も利用できる多目的トイレの設置等の対応が早急に望まれます。

(2) 移動・交通環境について

問題点

- ・視覚障害や聴覚障害等に配慮された注意喚起用ブロック、誘導ブロックの敷設、案内標識等の整備が遅れているため、目的地まで安全に移動することが困難な状況にあります。
- ・中心市街地内の道路は狭い箇所が多く、歩道が未整備であったり、歩道の設置が困難な箇所が多くあります。
- ・歩道が整備されていない道路では、側溝の蓋の上を歩道代わりに利用せざるを得ない状況です。
- ・街灯、電柱、看板等の障害物が道路や歩行スペースに張り出していて、車いすの通行を不可能にし、歩行者が車道を歩く姿が見られ危険です。
- ・道路や歩道の路面はいたるところで凸凹している他、段差やタイルの陥没している箇所が目立ちます。
- ・バス停留所にベンチ、屋根、風除け等が設置されていないため、高齢者がバスを待つ間、道路に腰掛けていたりする光景が見られます。
- ・高齢者や障害者の外出には家族等の運転する自動車による場合が多く、駐車場の確保や危険箇所の解消などが望まれています。

課題

- ・歩道の設置を進め、歩道確保が困難な箇所についても車道と明確に分離した歩行者スペースを確保し、歩行環境の安全性を高める必要があります。
- ・主な公共施設周辺においては、バス停留所から連続した歩道を確保し、視覚障害者用注意喚起用ブロック、誘導ブロックの敷設、音響式信号機の設置等の必要があります。
- ・電柱や街灯等の障害物のない歩道整備が望まれます。看板等については設置者の理解と協力を仰ぎ、歩行者スペースの安全性を確保することが必要です。
- ・高齢者や子供にも利用しやすいノンステップバスの導入やバス停留所の改善により、公共交通環境の充実と安全性の確保を図る必要があります。
- ・道路の危険箇所の改善や駐車場の整備なども課題です。

(3) 町民参加環境について

問題点

- ・「ハートビル法」や「福島県人にやさしいまちづくり条例」を知らない人が多いようです。
- ・障害者や高齢者の現況や、各種制度内容等の情報の収集・提供がスムーズに行われていないため、当事者が有効に活用することができなかつたり、ボランティア活動の幅を狭めていたりといった状況があります。
- ・身体的弱者等に対する認識不足から、介助の仕方などの対処方法がわからず、声をかけられなかったといったケースがあるようです。
- ・町内施設の設備内容(トイレの形態、駐車場の有無、段差など)の情報不足から障害者等にとって利用可能施設かどうかという不安を抱かせ、外出を妨げる要因の1つになっています。

課題

- ・ひとにやさしいまちづくりに対する町民意識の向上を図るため、福祉教育の充実と共に、健常者と障害者等が共に交流できる機会を増やすことが重要です。
- ・誰もが利用できるように改善した施設や障害者用トイレの設置箇所等を町民に広く知らせ、高齢者や障害者が外出しやすい環境づくりが必要です。
- ・町民の意識を高めるため、障害者や高齢者等の立場から町や施設を点検できる体験会等を実施する必要があります。
- ・一人一人の小さな配慮から、全ての人にやさしいまちへの第一歩を踏み出すことが重要です。